仙台市立鶴が丘中学校

感謝・克己・慧眼

第３学年だより　第 13 号

令和６年１月１６日(火)

2024 年の幕開け

　新年あけましておめでとうございます。昇り龍辰年がスタートしました。天高く舞い上がる龍のごとく，皆さんにとって常に上昇し続ける１年になりますように。

　新春早々，能登半島地震が発生し，連日各種メディアでは，１３年前に我々が経験した，またはそれ以上の被災状況が報道されています。東日本大震災を経験している世代としては，当時のつらい記憶がよみがえったり，避難生活の大変さがわかるがゆえに胸が傷んだり，心中穏やかではない年始となりましたね。同時に，いつものありふれた日常がかけがえのない貴重なものであること，そしてそれはいつ崩れ去ってもおかしくないことを再認識できたのではないでしょうか。一見何もない日々の生活が，いかに尊いものであるかを，生徒たちにも伝えていきたいと思います。

　さて，冬休みが明けて１週間。生徒たちには想定していたほどの冬休みボケも見られず，教室内の空気もだいぶ受験モードに切り替わっているように感じています。休み時間や隙間時間に過去問を解いたり自分でやることを見つけて勉強したりする姿が数多く見られるようになりました。１月１０日には宮城県内私立高校の推薦入試がありました。本校からは４０人を超える生徒がこの日の受験に臨みました。この推薦入試を皮切りに，いよいよ受験シーズンが本格化します。それぞれの目標に向かってこれまで積み上げてきた努力を発揮できることを願っています。

　また，ここからは，すでに進路が決まった生徒と，これから受験を控える生徒が同じ教室内で生活をともにすることになります。受験は団体戦。すでに進路が決まった生徒は，試験がこれからの生徒のために，できる限りの様々な配慮をして，勉強に集中しやすい環境を共に作り上げてほしいと思います。決して頑張っている人の足を引っ張ったり，努力している人の気持ちを逆撫でするようなことはしないでほしい。共に過ごしてきたクラスメイトや学年の皆が笑顔の春を迎えられるよう，我々も声がけしていきたいと思います。

神頼み？願掛けだるま

　登校初日に学年全員で願掛けだるまを作成し，３年昇降口前に掲示しました。だるまの腹部に願い事を書き，願いがかなったら両目を入れられるようになっています。東京都文京区にある，学問の神様湯島天神の『入試突破てぬぐい』（修学旅行の際に購入したものです）が御神体です。幅３メートル，高さ２メートルの鳥居の周辺に飾られただるまの姿は圧巻です。ご来校の際にはぜひご覧ください。